

## 2018 年度事業計画

### 1. 出資・融資事業

#### (1) 出資金の募集

2017 年度に引き続き、momo のミッションに賛同し、顔の見える関係にある個人・団体からの出資・増資を募っていきます。「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としての「質の向上」のみならず、「量の拡大」も意識し、東海地域における講演等では「出資のてびき」「momo のあゆみ」を配布し、広く出資を呼びかけます。

#### (2) 正会員への融資

##### 1) 融資の募集

18 年度の融資募集は年 2 回行います。融資申し込みの受付開始は 18 年 10 月、19 年 2 月を予定しています。

※17 年度～18 年度にかけての体制変更に伴い、18 年 6 月の募集に関しては中止させていただきます。

##### 2) 「個別相談会」「面談（一次審査）伴走支援」の実施

各回の融資先募集に合わせて、「個別相談会」を設け、融資希望者とともに融資の可能性を探ります。また、書類審査を通過した融資申込先に対しては、各担当理事が伴走支援を実施します。

##### 3) 融資審査委員会の開催

18 年度も引き続き、融資申込案件は理事のほか、NPO/NGO やコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問とともに、融資審査委員会で審議し、理事会で融資実施の可否を決定します

18 年度の顧問は以下の 5 名です（敬称略）。各顧問には二次（面談）審査にはできる限り同席いただくようお願いしています。

- ・小見寺敦史（岐阜商工信用組合 理事）
- ・川北輝（NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター 副代表理事）
- ・酒井隆信（東濃信用金庫 とうしん地域活力研究所 副所長）
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 専務理事）
- ・古里圭史（飛騨信用組合 常勤理事）

※その他、打診中の地域金融機関が数件あります（18 年 6 月末現在）

##### 4) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の 70%を上限に融資を行います。貸し倒れ等のリスク対策として、17 年度に引き続いて貸付金利息を損失準備金として積み立て、理事の出資金（18 年 5 月末で 1,998,000 円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えます。

### 2. 非資金支援（「情報発信」と「場づくり」）

#### (1) メーリングリストの活用

出資や融資などの当団体の活動を随時お知らせするために、会員メーリングリスト（momo-members@freeml.com）を積極的に活用します。引き続き「momo レポート」を月 1 回配信するほか、会員間の情報交換、融資先や審査に関する情報などもお届けします。

また、イベント情報等を会員に PR したい方は、交流メーリングリスト

（momo-koryu@freeml.com）をご活用ください。

#### (2) Web サイトの充実

当団体の考えや取り組み、かかわる人たちを広く伝えていくために、17年度より引き続き Web サイトを活用します。ボランティアスタッフ「momo レンジャー」の日々の活動や融資先の情報は、引き続き Web マガジン『momo 通信』、facebook などでも報告し、当団体の動きが随時わかるよう努めていきます。

### (3) イベントの開催・出展

18年度もボランティアスタッフ「momo レンジャー」の自発的な参画により、以下の開催を予定しています。(今年度も momo レンジャーの活動期間を「半年」ごとの更新制とし、「情報発信」と「場づくり」を通して融資先を応援していきます。)

- お披露目会：新たな融資先の活動を紹介するイベントを開催します。
- 完済イベント：完済を迎えた融資先の成果を報告し、完済を祝うイベントを開催します。

### (4) その他

18年度も融資実施後の経過を把握するために、融資先の活動に適宜参加したり、「融資先訪問ツアー」等の開催を通して、ともに学び合う関係を築いていきます。また、返済期日を厳守いただくためにも継続して連絡を取り合っていきます。

## 3. 地域金融機関等との連携事業

### (1) 「ソーシャルビジネスサポートあいち」への参画

地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を、地方公共団体、地域金融機関、中間支援組織等で連携して支援するためのネットワークです。地域の支援機関との共同で 2014 年 10 月 23 日に発足しました。18年度も引き続き、本ネットワークに参画します。

### (2) 実行委員会や会議等への派遣

18年度、役職員を委員等として派遣する予定の実行委員会、会議等は以下の通りです。

【長谷川】

- ・愛知県地域再生・まちづくり研究会 メンバー

### (3) ヒアリング調査等への対応

18年度も引き続き、ヒアリング調査等のお申し出にもできる限り対応します。

### (4) その他

「地域金融機関職員育成プログラム」や「SROI 測定サポーター養成講座」の開催に関しては、検討していきます。

## 4. その他（管理運営）

### ●総会・理事会の開催

18年 7 月 21 日（土）に定時総会を開催します。また、18年度も理事会を原則毎月開催します。

## 2018 年度予算

### 予算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2018 年 6 月 1 日至 2019 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	2017 年度決算	2018 年度予算
<b>I. 経常収益</b>		
1 受取会費		
情報会員	122,000	200,000
2 受取寄付金		
マンスリー	0	500,000
その他寄付	143,417	150,000
3 受取助成金等		
助成金	0	0
4 事業収益		
融資	209,526	200,000
非資金的支援(情報発信と場づくり)	31,000	70,000
金融機関等との連携	7,132,128	200,000
東海若手起業塾	2,390,114	0
5 その他収益		
受取利息	230	200
雑収入	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>10,028,415</b>	<b>1,320,200</b>
<b>II. 経常費用</b>		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	2,382,865	0
給料手当	3,298,875	0
賞与	0	0
通勤手当	319,689	0
法定福利費	599,845	0
<b>人件費計</b>	<b>6,601,274</b>	<b>0</b>
(2)その他経費		
外注費	260,909	600,000
広告宣伝費	438,369	30,000
印刷費	599,212	30,000
会議費	15,212	0
旅費交通費	636,321	50,000
通信費	240,299	50,000
消耗品費	40,462	5,000
水道光熱費	88,923	70,000
新聞図書費	42,000	0
諸会費	127,000	100,000
支払手数料	179,716	5,000
謝礼金等	645,333	0
賃借料	14,000	10,000

出展料	0	0
租税公課	0	0
その他雑費	465,898	16,200
<b>その他経費計</b>	<b>3,793,654</b>	<b>966,200</b>
<b>事業費計</b>	<b>10,394,928</b>	<b>966,200</b>
<b>2 管理費</b>		
(1)人件費		
役員報酬	20,000	0
給料手当	445,621	0
賞与	0	0
通勤手当	35,521	0
法定福利費	75,759	0
<b>人件費計</b>	<b>576,901</b>	<b>0</b>
(2) その他経費		
外注費	50,000	30,000
広告宣伝費	0	0
印刷費	22,528	10,000
会議費	0	0
旅費交通費	57,560	50,000
通信費	73,728	40,000
消耗品費	21,843	20,000
水道光熱費	9,880	10,000
新聞図書費	0	0
諸会費	0	0
支払手数料	7,798	6,000
謝礼金等	0	0
賃借料	60,100	15,000
出展料	0	0
租税公課	0	0
その他雑費	0	0
<b>その他経費計</b>	<b>303,437</b>	<b>181,000</b>
<b>管理費計</b>	<b>880,338</b>	<b>181,000</b>
<b>経常費用計</b>	<b>11,275,266</b>	<b>1,147,200</b>
<b>Ⅲ 経常外費用</b>		
1 予備費	0	4,500
2 損失準備金積立	169,526	100,000
3 未払法人税等	68,500	68,500
<b>経常外費用計</b>	<b>238,026</b>	<b>173,000</b>
<b>費用合計</b>	<b>11,513,292</b>	<b>1,320,200</b>
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>-1,484,877</b>	<b>0</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>4,066,104</b>	<b>2,581,227</b>
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>2,581,227</b>	<b>2,581,227</b>

**【2018年度予算と2017年度決算との主な相違点】**

(1) 経常収益について

- ★2017年度に実施した業務委託契約がなく、「金融機関等との連携」が大幅に減額しています。
- ★「東海若手起業塾」の実行委員会退会にともない、事務局担当分をカットしています。

(2) 経常費用について

- ★2018年度は専従有給スタッフを置かず、通常業務は業務委託で対応いたします。
- ★2017年度に実施していた業務委託がない分、計上費用も縮小しています。